

はざま通信

vol.
39



Illustration by おぐら やな

『Kの昇天 或はKの溺死』 梶井 基次郎 / 立東舎

『Kの昇天』は「K君」の訃報を知らせる手紙が知人から届いた「私」が、その返信に「K君」との思い出を綴るとい書簡体の小説。そんな、教科書にも掲載されたことのある梶井基次郎の名作を、美しいイラストとリミックスしたのがこちらの一冊。画集としても楽しめます。



『本を読んだことがない 32歳が はじめて本を読む』 走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚 / かまどほか / 大和書房

「生まれてから一度も本を読んだことのない人が読書をしたらどうなる？」そんな疑問から始まった企画を書籍化した一冊。「国語や朝読書の時間が苦痛」「本の楽しみ方がわからない」…そんな人にこそ、おすすめしたいです。

『レ・ミゼラブル』 ビクトル・ユゴー / 講談社

たった一切れのパンを盗んだために、過酷な運命をおったジャン・バルジャンの生涯を描いた物語。愛とは？正義とは？ジャン・バルジャンの生きざまをとおして、さまざまな思いに駆られる名作です。



『いまこそ読みたい教科書の泣ける名作』 Gakken / Gakken

こちらは泣いた赤鬼や走れメロスなど、小中学校の教科書に掲載された名作を14篇集めた短編集。授業で読んだことのある(中学生の方はこれから読む)作品が多いと思いますが、改めて読むと違った視点で楽しめるかも？

『舞姫 森鷗外珠玉選』

森 鷗外 / 講談社

明治時代。ドイツへ留学した官吏の青年・豊太郎は、踊り子の少女エリスと出会い恋に落ちるが…高校の教科書に採用されている表題作の他、鷗外の名作短編を読みやすい現代語訳で五本収録。

『名探偵ポアロ ポアロ登場』 アガサ・クリスティー / 早川書房

推理小説初心者でも楽しめる短篇集です。隙間時間や朝活、就寝前の読書入門にいかがでしょう。

『夜は短し歩けよ乙女』 森見 登美彦 / 角川書店

女子大生の「黒髪の乙女」に恋をした“先輩”。様々な場所で偶然の出会い”を装って彼女を追いかけますが…。京都を舞台にファンタジーが詰め込まれたドラマチックな小説をお探しの方にオススメの一冊です。

『「100分 de 名著」名作セレクション』 NHK「100分 de 名著」制作班 / 文藝春秋

難解な名著を誰にでもわかりやすく紹介するNHK「100分 de 名著」から、番組で取り上げられた中でも選りすぐりの名著を厳選した一冊。複数の本を取り上げているので一冊分の解説は短縮されていますが、外せないポイントは抑えられています。次に何を読むか迷ったときに。

秋に読みたい 名作・名著

はみだしはざま本

『モモ』 ミヒヤエル エンデ / 岩波書店

人の話を聞くのが上手な少女・モモは、貧しいながらも親切な街の人々や友達に支えられて穏やかに暮らしていた。ところが、街中に「時間貯蓄銀行」を名乗る怪しげな男たちが現れてから、人々は心のゆとりを失い、常に仕事に追われるようになり…。発表されたのは今から52年前。それなのに現代の私たちのことを書かれているようで、少しドキッとするお話です。

『ミス・マーブルの名推理 火曜クラブ』 アガサ・クリスティー / 早川書房

実際にその場で話を聞いているように楽しめる短篇集。火曜クラブでは皆がそれぞれ未解決事件を語りその場で謎解きをする。いったい誰が最も多く謎を解くことができるのか、最後までさくさく読むことができます。

『百年文庫 79』 小林 多喜二ほか / ポプラ社

三人の作家が書いた短編三作品を、漢字一字のテーマに沿って集めた百年文庫シリーズ。文字や行間を読みやすく、他の短編集にあまり掲載されていない作品が載っていることも多くてお気に入りのシリーズです。その中から私の推し文豪、小林多喜二の『駄菓子屋』が掲載されている79巻を今回はご紹介。『駄菓子屋』は夫婦で小さな駄菓子屋を営むおばあさんが、近所に大きな駄菓子屋が新しく出来たことで経営や進退に悩む様子が、昭和の情景と共に描かれたプロレタリア作品です。このほかに十和田操の『判任官の子』と宮本百合子の『三月の第四日曜』が、「隣」というテーマに沿って収録されています。79巻ももちろんおすすめですが、気になっている作家の入門作として、シリーズごとおすすめしたい一冊です。

『変身』 カフカ / 新潮社

朝起きたら、男は巨大な一匹の虫になっていた—突然虫に変身したグレーゴルを家族は戸惑いながらも世話するが、やがてその暮らしは静かに、ゆっくりと崩壊していく—110年以上前に執筆された、不条理文学の最高傑作。ゲームや映画の題材になることが多いので、読んだことはなくてもタイトルやあらすじに聞き覚えがあるという人は多いのではないのでしょうか。100ページ弱と短めのお話なので、朝読書の時間に挑戦してみてもいい？(ただし、朝からスッキリしない気分になるかも…)

『10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉』 岩村 太郎 / えほんの社

悩んでいる時支えてくれる26の言葉が載っている一冊。5章に分けられていて哲学的キーワードではそれぞれの分野の哲学者の言葉が記載されている。きっと先人たちの言葉は生きるヒントをくれるはず。

『赤毛のアン』 L.M.モンゴメリ / 講談社

舞台は20世紀初頭のカナダ。プリンス・エドワード島のアヴォンリーという小さな村で暮らす年老いたマシューとマリラのもとに、孤児院からやってきた赤毛の女の子・アン。アンは成長物語です。赤毛のアンの世界に憧れて、プリンス・エドワード島を訪れてみたくならない名作です。

『アルジャーノンに花束を』 ダニエル キイス / 早川書房

幼児並みの知能しかなかった主人公は、ある手術を受け、天才的な知能を得ることに。知能の向上と共に、新たに直面する様々な戸惑いと葛藤。普通の生活を送り、たくさんの人との関わりを求めていた主人公の優しくも切ない物語です。全世界が涙したと話題になった不朽の名作です。

『366日のにゃん言葉』 猫の写真と文学作品で語彙力を高める / ベズルほか / 三オブックス

芥川龍之介、夏目漱石など、文豪の作品に出てくる難しい言葉「にゃん言葉」を一日ひとつピックアップして、猫の写真とともに解説する本書。かわいい猫の写真を楽しみながら、にゃん言葉を学ぶことができます。よくこんなところを撮影できたなあ…なんて、別の視点からも楽しむことができる猫の写真集。

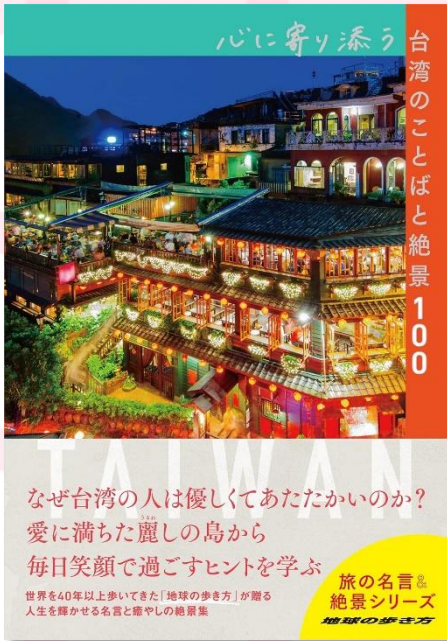
『名言は役に立つ 偉人のことば』 オオタ ヤスシ / 旺文社

「ベンは剣よりも強し。」「ローマは一日して成らず。」など一度は耳にしたことのある名言。現代の人にも刺さる、多くの偉人の短い言葉の中には、名言たる深い意味が込められていて…。偉人の名言を意味と共に教えてくれる一冊です。歴史を変えるほどの力を持っていた言葉には、一体どんな意味が込められているのか。お気に入りの名言は、人生の節目できっと自分自身を助けてくれる言葉になるはず！

グッとくる

コトバのチカラ

本や映画、マンガに出てきた、印象に残るあのセリフ。スポーツ選手や有名人、偉人が残したあの言葉。背中を押してほしい時に読みたい、名言、名セリフが満載の本を紹介します！



『心に寄り添う台湾のことばと絶景 100』 地球の歩き方編集室 / 地球の歩き方

「台湾」というテーマに合わせた写真と名言が、癒やしとパワーを届ける写真集。「地球の歩き方」らしく掲載されている場所の解説付きです。台湾の風景が好きな方、優しい言葉に癒されたい方におすすめの一冊。

『心にひびくマンガの名言』

人生の大切なことはマンガがすべて教えてくれる 5』
学研教育出版

人気漫画のセリフを名シーンと共に紹介するシリーズ。5巻目の本書は『大切なことに気づく』というテーマで「ちびまる子ちゃん」「のだめカンタービレ」等に登場したセリフを紹介。

セリフのシーンに至るまでのあらすじも解説しているので、気になった漫画を手取るきっかけにも。



グッとくる

コトバのチカラ



『あなたの人生に魔法をかける、 ディズニー映画 100 の名言』

講談社

落ち込んだとき、ちょっぴり元気がないとき
…そんなとき心に寄り添ってくれるディズニー
映画の名言を紹介する一冊です。

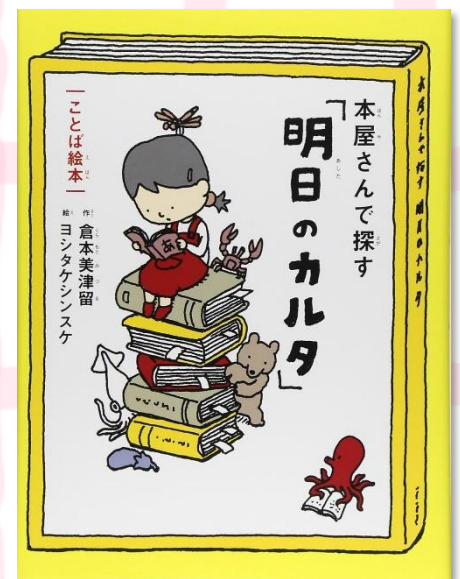
『本屋さんで探す「明日のカルタ」

ことば絵本』

倉本 美津留 / 主婦の友社

マンガから小説や絵本まで様々な本の中から
前向きになれる言葉を集めた一冊。

選ばれた本の一覧もあるので、気になった言
葉の本を読んでみるのもいいかもしれない。



グッとくる

コトバのチカラ



『世界を動かした名演説』

池上 彰ほか / 筑摩書房

様々な歴史の転換点に生まれた名演説。戦時中に戦況を大きく変えた演説、冷戦終結や終戦へのきっかけとなった演説など、多くの人々の心を突き動かした言葉を世界の歴史・情勢と共に辿っていく一冊です。

『やなせたかし明日をひらく言葉』

やなせ たかし / PHP 研究所

アンパンマンの作者・やなせたかしさんが、エッセイやメディアのインタビュー等で語った中から、選りすぐりの言葉を集めた一冊。名言集兼エッセイ集…という感じの読み物です。なぜアンパンマンはお腹を空かせた人に自分の顔を干切って渡すのか。災害に見舞われた地域のラジオで流れた「アンパンマンのマーチ」がもたらした奇跡とは。

言葉とともに語られるエピソードも必見です。



ほかにもあります!



『タヌキとキツネ偉人の名言』

有沢 ゆう希ほか / 講談社



『「がんばれ!」でがんばれない人のための “意外”な名言集』

大山 くまお / ワニブックス



『マイメロディの「論語」』

朝日文庫編集部 / 朝日新聞出版



『心に染み入る日本の美しい大和言葉』

高橋 こうじ / 実業之日本社



『ちびギャラ』

ボンボヤージュ / ゴマブックス



『10秒で心が癒される言葉 気持ちがラクになる』

根本 浩 / PHP 研究所

職業体験や実習などで図書館に来てくださった“はぎま”世代のみなさんのおすすめ本や好きなモノをご紹介します。
今回は更別農業高校の実習生のリサーチです！

はぎまりサーチ!

似顔絵、アクリクなど

はぎまNAME
きゅうり

学年
高校2年生

部活
好きな本
まんが、料理やお菓しのレシピ本

media research

好きな有名人
ファントムシター

好きなキャラクター
ツイステッドワンダーランド
シャドウ・ハウル

好きな番組
イッテQ

将来の夢
いろんな重労働とふれあえるお仕事が、お洋服を作れるようにしたい。

Question

Q1.あなたのおすすめの本を紹介してください。
たっつら分まで！お店オチはなぶんわり食感♡「おにぎりおにぎり」
学校で食でた最高おにぎりと思ふものが多いて作ってオチになった。
おにぎり以外にもおにぎりの作り置きできる具材のパンアレンジレシピもあった。

Q2.学校や友達との間で流行っている事、またはマイブームがあればぜひ教えてください。
お散歩、外の写真を撮ること。

Q3.図書館に「こんな本を置いてほしい!」という希望はありますか?
オオカミの写真集、ガラスアートの写真集

Q4.はぎま通信で特集してほしいテーマがあれば教えてください。
甘いおかし特集

Q5.最後に実習を終えて一言!
4日間ありがとうございました。
カウンターの受付

●FREE SPACE●

実習お疲れ様でした！これからも図書館をよろしくお願ひします(^-^)



●イ〜ンカおじさんのひとりごと●

はぎま通信では過去に vol.28(2023年2月刊行)でスイーツ本特集を取り上げました。お菓子づくりの本のほか、お菓子缶のデザインを集めた本や、お菓子をテーマにした小説の短篇集も紹介しています。はぎま通信の過去のバックナンバーは図書館にある他、HPでも見ることが出来るので、気になったらぜひチェックしてみてくださいね！



はざま通信の 表紙を

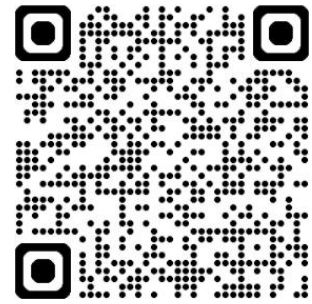
描いてみませんか？

イラストを
描くのが好き！

図書館が好き！

自分のイラストを
たくさんの人に見てほしい！

くわしくは
こちら！！



はざま通信とは

時には子ども、時には大人の感性を持つ世代を主体としたみなさんに、幕別町図書館がオススメする本を紹介するブックリストです。



はざま通信 vol.39 いかがでしたか？

今回は読書の秋ということで、長年愛されている名著・名作、名言の本を紹介しました。

名著と呼ばれている本って「難しそう」「本当に面白いのかな？」とハードルを感じて少しとっつきにくく感じたりもしますよね…しかし、近年はイラストレーターさんとコラボした装丁や、より読みやすくなった新訳版など、手に取りやすいバージョンもたくさん出ているので、ぜひ興味を湧いた作品から読んでみてほしいなと思います。

次回の特集は「**ハンドメイド**」!

休館日

毎週火曜日(祝日の時は翌日)
毎月末日(土・日・祝日の時は前平日)
年末年始(12/29~1/3)

開館時間

午前10時~午後6時(忠類分館は午後9時まで)
※札内分館 木曜日のみ午後8時まで

ホームページ

<http://mcl.makubetsu.jp/>

はざま通信 vol.39

2025年10月

発行:幕別町図書館

編集:幕別町図書館はざま編集

開館・イベントなどの情報はこちらから!



幕別町図書館

